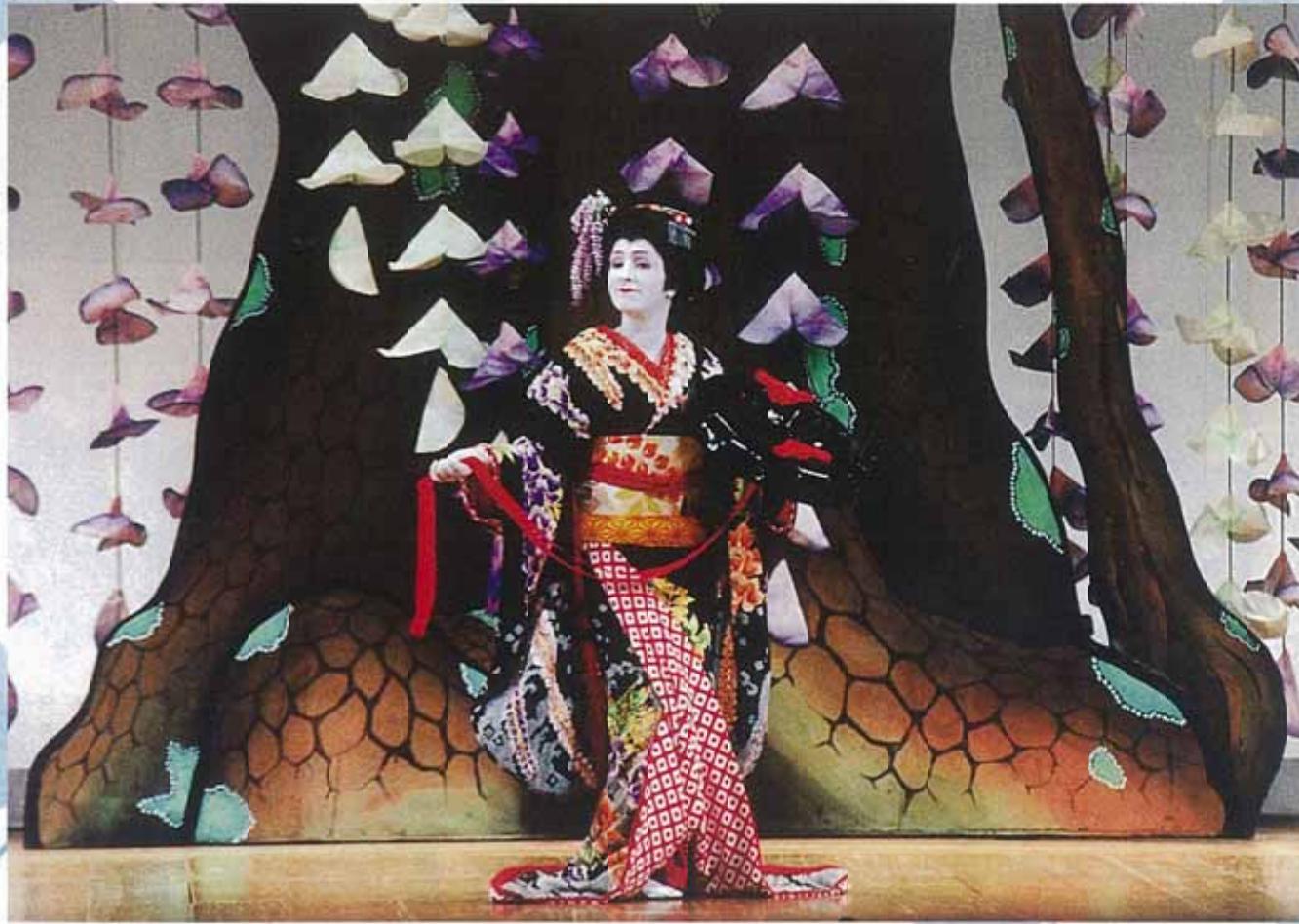


メイプル通信 Newsletter Maple

福岡カナダ協会広報誌
Fukuoka Canada Society

Vol.7



シモン領事日舞公演に出演 ～長唄「藤娘」の美しい舞を披露～

5月13日(日)

在福岡カナダ領事館のジョシアン・シモン領事は、5月13日(日)、日本舞踊を通して国際文化交流を続ける「鯉の会」が福岡市中央区の電気ホールで開催した第18回定期公演に、カナダを始めとする海外からの留学生と一緒に出演され、長唄「藤娘」の舞を披露されました。

日本の文化を吸収しようと、昨秋から熱心に練習に励まれ、しみき(独り舞)にも挑戦されたシモン領事の日本的で美しい舞に、満員の会場から拍手喝采が起きていました。



平成13年度理事会・総会

5月14日(月)

平成13年度の理事会及び総会を5月14日(月)に福岡市博多区のホテルオークラ福岡で開催しました。

平成12年度事業報告・収支決算報告、平成13年度事業計画・収支予算などの議案について審議を行い、原案どおり承認されました。承認された議案の内容を次頁以降に掲載しておりますので、ご確認ください。

総会終了後、当協会名誉会長のレナード・エドワーズ駐日カナダ大使から、カナダと福岡との経済交流の現状と今後の展望についてお話をいただきました。お話を最後に、6月をもって駐日カナダ大使を離任され、カナダに帰国されるとのお別れのごあいさつがありました。

引き続き行いました懇親会には、100名を超える会員の方々に出席をいただき、エドワーズ大使、在福岡カナダ領事館のショシアン・シモン領事を囲んで、カナダビールやカナダワインを手に、領事館から協賛いただいたカナダグッズの当たるお楽しみ抽選会などを楽しみながら懇親を深めました。

なお、エドワーズ大使は、6月中旬にカナダに帰国され、首都オタワにあるカナダ外務・国際貿易省の国際貿易次官に就任せられました。



総会



懇親会



スピーチされるエドワーズ前大使

ケベック市長来福

5月17日(木)

5月17日、カナダのケベック市から、ジャン-ポール・ラリエ市長が十数名のミッションを率いて来福され、福岡市及び当協会を表敬訪問されました。

当協会では、昨年9月に鎌田会長ほか数名で福岡市の山崎市長の親書を携えてケベック市を表敬訪問し、同市の方々から歓迎を受けました。

今回、その返礼の意味を込めて、当協会の主催でラリエ市長一行を歓迎する昼食会を開催しました。当協会からは、佃亮二副会長、加藤竺子副会長を始め、関係者10名が出席し、昨年の表敬訪問に始まったケベック市との交流を更に深めることができました。



ラリエ市長 中央

ケベック市

カナダ東部に位置するケベック州の州都で人口約70万人の港町。セントローレンス川に臨む断崖の上に構築された北米で唯一残る城壁の町で、ユネスコの世界遺産に指定されている旧市街の美しいたずまいや素晴らしい建築遺産は訪れる人を魅了します。新大陸におけるフランス文明誕生の地で、市民は主にフランス語を日常語としています。モントリオールがケベック州における経済・文化の中心であるのに対し、政治・行政の首府であるケベック市は、学問の都、そして工業の中心でもあり、光学やレーザー技術の研究に関しては世界的に有名な都市でもあります。



平成13年度総会資料

平成12年度事業報告

実施年月日	活動内容
平成12年4月	広報誌「メイブル通信」第2号発行
平成12年7月1日	カナダ映画「レッド・バイオリン」鑑賞会開催 ・104名参加 [於：九州エネルギー館]
平成12年7月10日	平成12年度理事会・総会開催 ・平成11年度事業報告及び収支決算報告、平成12年度事業計画案及び収支予算案を承認 ・122名参加 [於：ホテルニューオータニ博多]
平成12年7月	広報誌「メイブル通信」第3号発行
平成12年9月18日 ～9月29日	設立1周年記念カナダ表敬訪問 ・外務省国際貿易省及びケベック省表敬訪問、ポンバルディア社航空機製造工場見学、バンクーバー交流パーティーなど ・78名参加
平成12年9月26日 ～10月2日	中島憲油絵展「遙かなるカナディアン・ロッキー」後援 [於：福岡三越]
平成12年9月28日	バンクーバーの劇団アクシスシアター「笑撃・バスストーリー」福岡公演の後援 [於：エルガーラホール]
平成12年10月	広報誌「メイブル通信」第4号発行
平成12年11月9日	日本・カナダ教育シンポジウム留学セミナー後援 [於：電気ビル]
平成12年12月4日	クリスマスパーティー開催 ・230名参加 [於：ペイサイドプレイス博多埠頭]
平成13年1月	広報誌「メイブル通信」第5号発行
平成13年3月9日	カナダ法律事務所相談会 [於：ホテル日航福岡]
平成13年3月20日	「海の中道フラワーピクニック2001」参加 ・市民参加花壇にカナダコーナーを設置 ・18名参加 [於：海の中道海浜公園]

* 平成13年3月31日現在の会員数：法人101社、個人294名

平成12年度収支決算報告【平成12年4月1日～平成13年3月31日】

(単位：円)

項目	12年度予算	12年度決算	増減	摘要
収入の部				
会費収入(法人会員)	3,720,000	3,330,000	△390,000	
会費収入(個人会員)	934,000	723,000	△211,000	
事業収入	1,000,000	821,000	△179,000	
その他収入	500,000	698,080	198,080	
前年度繰越金	2,886,125	2,886,125	0	
取入計	9,040,125	8,458,205	△581,920	
支出の部				
事業費				
総会・理事会費	1,500,000	1,120,110	△379,890	
各種行事費用	1,500,000	1,551,641	51,641	
事務費				
印刷・通信費	1,500,000	1,758,942	258,942	
交通費	500,000	50,398	△449,602	
会議費	60,000	9,895	△50,105	
臨時員手当	1,000,000	809,200	△190,800	
雑費	180,000	481,820	301,820	
予備費(剩余金)	2,800,125	2,676,199	△123,926	次年度繰越
支出計	9,040,125	8,458,205	△581,920	

平成13年度事業計画

- 1.会議の開催……………理事会、総会
- 2.懇談会、講演会、研究会等の開催…政治・経済・文化面において、カナダについての勉強の機会をつくる。
- 3.各種行事の開催……………クリスマスパーティーや福岡県在住のカナダ人を交えての懇親会など、会員相互の交流を深めるための行事を開催する。
- 4.文化活動の支援……………カナダ映画鑑賞会の開催や福岡県で開催されるカナダの各種文化活動を支援する。
- 5.友好親善活動……………カナダ人留学生に対する奨学一時金支援やホームステイの斡旋、福岡県を訪問されるカナダ人の方々との交流会など、民間の立場から日本とカナダの友好親善を促進するため、幅広い交流に努める。
- 6.カナダに関する情報の提供……………カナダへ旅行される方々にカナダに関する情報を提供するとともにカナダの産業に関する情報として展示会、セミナーなどの案内を提供する。
- 7.会報の発行……………協会及び会員の活動状況やカナダに関する情報などを掲載する広報誌「メイブル通信」を年4回程度発行する。

平成13年度收支予算 【平成13年4月1日～平成14年3月31日】

(単位:円)

項目	13年度予算	12年度決算	増減	摘要
収入の部				
会費収入(法人会員)	3,720,000	3,330,000	390,000	
会費収入(個人会員)	934,000	723,000	211,000	
事業収入	821,000	821,000	0	
その他収入	1,000,000	698,080	301,920	
前年度繰越金	2,676,199	2,886,125	△209,926	
取入計	9,151,199	8,458,205	692,994	
支出の部				
事業費				
総会・理事会費	1,120,000	1,120,110	△110	
各種行事費用	3,000,000	1,551,641	1,448,359	
事務費				
印刷・通信費	1,759,000	1,758,942	58	
交通費	50,000	50,398	△398	
会議費	10,000	9,895	105	
臨時員手当	1,000,000	809,200	190,800	
雑費	250,000	481,820	△231,820	
予備費(剩余金)	1,962,199	2,676,199	△714,000	
支出計	9,151,199	8,458,205	692,994	

福岡力ナダ協会役員

(順不同、敬称略)

名誉会長

駐日カナダ大使

レナード・エドワーズ

名誉副会長

在福岡カナダ領事

ジョシアン・シモン

名誉顧問

福岡県

知事 麻生 渡

福岡市

市長 山崎 広太郎

北九州市

市長 末吉 興一

会長

九州電力株式会社

社長 錦田 迪貞

副会長

株式会社福岡銀行

会長 個重 亮二

東陶機器株式会社

会長 潤藤 雅子

社会福祉法人シティケアサービス

理事 加藤 仁子

理事

株式会社アステック入江

社長 入岡 明敏

岡野バレブ製造株式会社

社長 敦曠

北九州運輸株式会社

社長 荒坂 二司

九州松下電器株式会社

社長 木井 明秀

九州旅客鉄道株式会社

社長 中石 樹忍

株式会社九電工

社長 山本 治郎

西部瓦斯株式会社

社長 浅野 彦彦

株式会社新出光

社長 良芳

新日本製鐵株式会社八幡製鐵所

所長 英治

株式会社ゼンリン

最高顧問 賢一

株式会社高田工業所

会長 義博

鳥越製粉株式会社

会長 佐藤 一

西日本鉄道株式会社

社長 本山 博

福岡地所株式会社

社長 下石 一

明治屋産業株式会社

社長 本藤 美

株式会社安川電機

会長 次方 廣

福岡県教育委員会

委員 長方 喜子

監事

株式会社西日本銀行

会長 古賀 世喜

株式会社福岡シティ銀行

頭取 二司

カナダデー・在福岡カナダ領事館 設立10周年記念レセプション

7月1日(日)

1991年に日本で3番目のカナダ政府公館として福岡の地に設立された在福岡カナダ領事館は、今年で10周年を迎え、7月1日のカナダ建国記念日“カナダデー”に合わせて、福岡市中央区のホテルニューオータニ博多で記念レセプションを開催されました。

当協会の会員の方々も大勢参加され、カナダビーフやオマール海老、メープルシロップなど、カナダの食材を用いたコース料理やカナダワインを堪能しながら、カナダデーと領事館設立10周年を祝いました。

ジョシアン・シモン領事のごあいさつに続き、6月に就任されたばかりのロバート・ライト新駐日カナダ大使とベンワ・ブレフォンテン前在福岡カナダ領事もビデオで登場され、メッセージを伝えられました。

なお、ライト新大使は、エドワーズ前大使が就任されたカナダ外務・国際貿易省の国際貿易次官からの転任です。また、ブレフォンテン前領事は現在、カナダ外務・国際貿易省の南アジア・東南アジア局南アジア部でインド課長をされています。



あいさつされるシモン領事

カナダデー(カナダ建国記念日)

1867年7月1日、英領植民地であった現在のオンタリオ州、ケベック州、ノバスコシア州、ニューブランズウィック州が統一され、連邦国家、自治領カナダが誕生しました。毎年、カナダ各地でこの建国記念日が祝われていて、首都オタワの国会議事堂の前に何万人も集まって、花火やライブショー等いろいろなパフォーマンスが行われ、楽しく過ごします。



バンクーバー在住の会員、
井上恵都子さんからの
カナダにおける
医療福祉に関するレポート



井上恵都子
Fax : 604-256-2783
e-mail:etsuko@integrate.bc.ca

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？ バンクーバーは爽快な夏です。澄みきった青空にほんのちよつり雪を頂いた山々、青い海にはヨットの白い帆が浮かび、街は青々とした緑に覆われ、ダウンタウンはフラワーバスケットで彩られています。朝5時に日が昇り、日没は9時過ぎと1日を仕事にプライベートに有效地に使える夏です。

毎年5月は仕事の関係で病院や介護施設を訪問しています。それで今回はカナダの医療福祉についてレポートをします。カナダが福祉国家であることをご存じでしたか？ 実はこれがカナダに移民したいという理由の一つになっています。病気になってしまって安心、老いてたつた一人ぼっちになってしまって、体が突然不自由になつたとしても、この国であれば、一人の人間としての人生を有意義に過ごせるだろうと感じます。医療福祉は各州ごとに管轄されていますので私の住むブリティッシュ・コロンビア(BC)州の医療福祉をご紹介します。

個人の意思、文化を尊重し、誰もが健全で自立した生活ができるように広範囲にわたる医療機関のサービスや各種プログラムが準備されています。

*医療機関

病院において日本との大きな違いはそれぞれに家庭医(ホームドクター)がいることです。病気になるとホームドクターに診てもらいます。個人医院と同じでその診断と細かい治療を行うところです。ホスピタル(病院)というところは救急患者の手当て、手術、精密検査をするところで外来患者は受け付けません。バンクーバーには大きな総合病院が3つ(バンクーバー総合病院、BC州立大学病院、セントポール病院)ありますが、これらは州政府からの援助金で運営されているため、いつも資金のやりくりに困っているのが現状です。そのため一般から寄付金を募っています。また、数年前から合理化を図るために、それぞれの病院が専門分野を受けもっています。各病院で、一人の患者に対して、医者、看護婦、ケースワーカー、栄養士などが1チームを組み、患者の社会復帰までをケアしています。そして患者が無事社会復帰できたならば、今度はその地域住民たちが必要な限りサポートをします。病院とコミュニティーがしっかりと連絡しているわけです。

I trust you are all happy and healthy? Vancouver is delightfully summer again: through the clear blue sky I can see the tops of the mountains with wisps of snow still on them; the white sails of the yachts billow on the blue sea; the city is covered in blue-green foliage; and the downtown area is decorated with a host of flower baskets. The sun rises about five each morning, and sunset is about nine - the perfect summer for both work and the private life.

This May I visited a number of hospitals and care facilities through my work, and this issue I would like to report on medical and social care in Canada. Did you know that Canada is a welfare nation? This is, in fact, one of the major reasons why people want to immigrate. As long as you're in Canada you can be secure in the knowledge that you can still lead a meaningful life even if you become sick, grow old, or are suddenly disabled. Medicine and social welfare programs are implemented independently by each province, so I'll introduce the programs here in British Columbia (BC).

The program respects the will and culture of the individual, providing a wide range of medical services and programs to enable all to lead a sound, self-supporting life.

Medical Institutions

One of the biggest differences between BC and Japan is that in BC doctors make house calls; if you get sick, the doctor will come to see you. Just like a private clinic, the doctor will make his examination and provide detailed care. In BC, hospitals are for emergency patients, surgery, and detailed testing, with no outpatients accepted. There are three major hospitals in Vancouver (Vancouver General Hospital, BC University Hospital and St. Paul's Hospital), but they face constant problems with operating budgets because they are funded by the provincial government. As a result, they collect donations from the general public. In the last few years, in an effort to rationalize operations, they have also been developing fields of specialty. Each patient is assigned a team (which might include people like a physician, nurse, case worker and dietitian) which provides care until the patient is again a functioning member of society. Once the patient returns to normal life, the local community then takes over, providing necessary support. The hospital and the community work closely together.

★高齢者の医療福祉

カナダでも老齢化が進んでいて、1995年のシニア人口は総人口の12%（360万人）、2014年には23%に達する見込みです。高齢者に対する医療福祉制度は大変充実していますが、高齢化の進展に伴い、急増する医療費の削減と介護施設から在宅への移行といった改革が行われています。1978年からBC州では医療と福祉を統合し、長期介護施設での介護を医療保険で提供し、ここ数年は在宅ケアに力を入れています。派遣ヘルパーはバンクーバー市を中心とした年間20万時間の在宅介護サービスを行っています。このサービスは非営利組織によって行われています。シニアの92%が個人宅で生活しており、8%が施設で生活をしています。65歳以上のカナダ市民権または永住権保持者であれば無料で医療福祉サービスを受けることができます。サービスの内容は、病院の医療サービスとホームヘルパー、デイケア、ホームケア、食事の配達、レジデンシャルサービス、特別医療診断とその治療サービス等です。

★ナーシングホーム(看護施設)

バンクーバー市内、その近郊にあるナーシングホームはどこも、“ここがナーシングホーム？”と思うくらいまるで素敵な別荘のようです。沢山の緑に囲まれ、中に入るとお日様の光がたっぷり室内に入るようになっており、一部屋あたりの面積も日本に比べると相当広さです。ナーシングホームは入居者の看護度合い（5段階レベル）により分かれています。1日の料金は3食込みで25ドルから50ドルが平均となっています。これは本人の所得から算出されます。施設によってはその国の文化を生かしているところがあります。さすがは多民族国家です。ユダヤ人系、中国系、インド、そのうち日本も。これらの施設には宗教上のしきたりに沿ったもの、食事、言語などとユニークです。老後を迎える多くの永住者たちはカナダのものではなく生まれ育ってきたものの中で、余生を送りたいというところからこのような施設が生まれたものと思われます。

5月に仕事の関係でバンクーバーの様々な介護施設をまわりました。これらの施設の印象は一部屋あたりの面積が広い、沢山の日の光が入るようなくらいが多い、室内の色使いが明るい、施設特有の臭いがない、寝たきりの人がいない、お天気の良い日はストレッチャーを利用してでも外に出ている、一見入居者は自由に生活してるように見えるが、そのバックには入居者を縛らずしてスタッフが介護をしやすい環境をスタッフ自身で作り出しているなどがありました。

★コミュニティの力

病院や施設だけではなく、忘れてはならないのがコミュニティの大きな受け皿があることです。そして半分以上はボランティアの力に頼っています。カナダではどこにおいてもボランティアが大活躍しています。バンクーバー総合病院などは1000人以上のボランティアがいます。リッチモンドとバンクーバーの保健コミュニティにはボランティアの部署があり、そこに登録しておくと、医療福祉関連でボランティアをすることができます。15歳から16歳以上であればだれでもボランティアをすることができ、シニアのためのボランティア組織もあります。定年退職した元気なシニアがボランティアをするケースも多く、シニアの23%が最低週1回のボランティア活動を行っています。慈善団体への寄付がもっとも多いのもシニア層です。

★医療保険

BC州では、特殊な理由を除き、全ての居住者に医療保険へ加入が義務づけられており、現在、有資格者の98%（約330万人）が加入しています。保険料は毎月一人36ドルです。なお、医療費は州政府予算の3分の1を占めています。

これらがカナダの医療福祉の大枠です。私の体験談も含めてレポートをいたしました。医療福祉にご興味のある方はいつでもご連絡ください。施設を視察してみたい方も手配その他いつでもWELCOMEです。

それでは皆様お元気でお過ごし下さい。

Medicine and Welfare for the Aged

The average age is rising in Canada as well, with 12% of the population (3.6 million people) above the age of 65 in 1995, and expected to rise to 23% in 2014. The medical and welfare program for the aged is very good, but as the average age rises there have been a number of modifications such as reducing soaring medical expenses and shifting patients from care facilities to private homes. From 1978 medicine and welfare were integrated in British Columbia, with medical insurance providing long-term nursing home care as well, but in the last few years the focus has shifted to at-home care. Dispatched personnel provide about 200,000 hours of at-home care in the area centered on Vancouver each year. This service is provided by an NPO. 92% of senior citizens live in private homes, with the remaining 8% living in facilities. Any resident of 65 or older, with Canadian citizenship or permanent residence, can receive free medical and welfare service, including hospitalization, at-home assistance, daycare, at-home care, meals delivery, residential services, special medical examinations and special medical treatments.

Nursing Homes

All of the nursing homes in and around Vancouver look more like country estates than nursing homes. They are surrounded by lush greenery, the rooms are full of sunlight, and each room is much more spacious than in Japan. Nursing homes are grouped into five levels by the degree of care provided, with an average daily fee, including three meals, between \$25 and \$50. The actual cost is based on each person's income. Some facilities emphasize national cultures: Canada is a land of diverse ethnic groups, including Jewish, Chinese, Indian, and of course Japanese. Facilities for these particular groups may follow various guidelines imposed by religion, food or language. I believe that this came about because many aging permanent residents wanted to spend their time within the cultures of their native lands, rather than that of Canada.

In May, as part of my work, I visited a number of nursing facilities in Vancouver. My impressions included spacious rooms, windows designed to let in lots of sunlight, bright interior coloration, no unpleasant "facility" smell, no bed-ridden elderly, the ability to go outdoors (even on a stretcher) in good weather, and the appearance of general freedom for the residents. I felt that underlying it were the efforts of the staff to create an environment conducive to care.

The Power of the Community

What is really important here is the support provided by the community, more than the hospitals or other facilities. The majority of this support is provided by volunteers, and in Canada volunteers are active everywhere. There are over 1000 volunteers at the Vancouver General Hospital and elsewhere. There are volunteer departments in the Richmond and Vancouver health and welfare communities, and people can register to provide volunteer assistance in medical and welfare fields. Anyone over about 15 or 16 can volunteer, and there are special volunteer groups for the elderly to join. In many cases, retirees in good health provide volunteer services, with 23% of all senior citizens working volunteer at least once a week. And the senior citizens as a class also donate the most to charity.

Medical Insurance

In BC, all residents must join medical insurance plans, with a few exceptions. At the present, 98% of all qualified residents (about 3.3 million) are covered under medical insurance. The monthly premium is \$36. Note that medicine accounts for about a third of the provincial budget.

This concludes my outline of the Canadian medical and welfare service, mixed with personal observations. If you are interested in the subject, please drop me a line. I will also be delighted to arrange visits to related facilities.

Stay well!

事務局から

事務局移転のお知らせ

福岡カナダ協会は、この度、事務所を下記のとおり移転いたしましたので、お知らせします。

（新住所）〒810-8720 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル本館6階
(TEL/FAX) 092-761-3064
(事務局) 九州電力株式会社総務部地域共生グループ 坂田、三角

年会費納入のお願い

先般、平成13年度年会費納入のお願いを送付させていただいております。まだご納入されておられない方は、お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします。



会員募集

福岡カナダ協会では会員を募集しています。お知り合いのカナダにご興味のある方、カナダへの留学・滞在経験者の方、福岡在住のカナダ人の方をご紹介ください。